

## 1 大会概要（案）の公表～市民対話の実施

### ■大会概要（案）の公表

#### 【経緯・目的】

大会の計画については、2026年大会招致プロセスにおけるIOCとの対話や、2019年に実施した市民対話事業を経て、随時更新を行ってきた。

その後の新型コロナウイルスの影響や、東京2020大会の実施状況を踏まえて見直した現時点の計画について、その要点をまとめたものを大会概要（案）として公表する。



#### 【大会概要（案）の広報活動】

市役所・区民センター等公共施設での配架や、市の各種媒体（広報さっぽろ、ホームページ、SNS等）での発信に加え、市内ほぼ全域にポスティングされるフリーペーパーへの掲載等、積極的な広報活動を行う。

### ■市民対話の実施①

#### 【目的】

- ▶ 大会概要（案）をもとに、オリンピック・パラリンピックに対する市の考えを発信し、市民の意識と理解を深め、機運の醸成を図る
- ▶ 昨今の社会情勢や生活様式の変化によって生じた、市民のオリンピック・パラリンピックに抱く意見を、今後の計画検討に取り入れる

#### 【実施内容】

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ シンポジウム<br/>日程：1月下旬～2月上旬<br/>構成：札幌市長及び3～4名程度の有識者を想定<br/>募集人数：300～400人程度<br/>開催方法：現地開催&amp;オンラインの活用による動画配信を想定</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ワークショップ<br/>日程：1月中旬～2月中旬<br/>構成：子どもワークショップ<br/>全世代ワークショップ<br/>募集人数：各回50名程度<br/>開催手法：オンラインでの実施を想定</li> </ul> |
|---|--|

<令和元年度の実施状況>



シンポジウム



子どもワークショップ



大規模ワークショップ

### ■市民対話の実施②

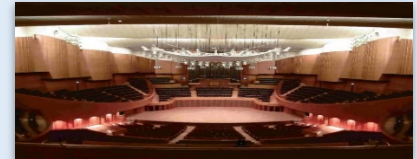
#### 【1972年札幌大会50周年記念事業の活用】

- ▶ 札幌大会でつながる過去と未来プロジェクト  
日程：2021年10月～2022年3月  
内容：1972年大会に様々な立場で参画した市民から、自身のエピソードや想いを募集、市内の学生が絵画などへのビジュアル化を行いながら未来のオリンピック・パラリンピックを考える機会を提供



ビジュアル化

- ▶ 50周年記念式典&アニバーサリーコンサート  
日程：2022年3月  
内容：札幌大会の感動と興奮を共有し、スポーツの力を再認識するとともに札幌市の魅力を発信  
場所：札幌コンサートホールkitara 大ホール



記念式典&アニバーサリーコンサート

#### 【2022年北京大会と連動した取組の活用】

- ▶ パブリックビューイング  
日程：2022年2月～3月（※コロナ感染状況により実施方法を検討）  
内容：北京オリンピック・パラリンピック  
場所：チ・カ・ホ 北3条広場（西）、北2条広場



パブリックビューイング

市民対話事業を始めとした様々な機会や手法を活用し、  
冬季オリンピック・パラリンピックに対する期待や懸念の声を把握し、計画検討に反映

## 2 意向調査について

### ■調査の位置づけ

- ▶ 今回実施する意向調査は、2014年の招致表明時と同様、市民へ賛否を尋ね、その結果により招致の是非を決定するというものではなく、今後の進め方の参考とするもの。
- ▶ 大会招致にあたっては、国や企業からの支援の獲得に加え、市民対話事業をはじめとした機会を活用しながら、より多くの市民の声を把握し、議会とも協議のうえで総合的に判断する。

### ■調査の考え方

- ▶ 世代間及び地域間のバランス
  - ・各世代・性別ともに偏りのないバランスのとれた回答を得るため、郵送調査を含め手法を検討する（※調査は成人を対象とするが、子どもたちの声も把握していく）。
  - ・北海道における広域の開催となるため、札幌市民のみならず、北海道民も対象とする。
- ▶ 大会概要（案）の理解促進
  - ・意向調査を回答する際の判断材料として、大会概要（案）を理解していただくことが重要であることから、調査にあわせ、大会概要（案）の情報を入手できる環境を整える。
- ▶ 時期
  - ・調査は年度内に実施する。